

北山エリア整備に係るワークショップ（1回目）意見

テーマ：旧総合資料館跡地の舞台芸術・視覚芸術拠点に望むこと

<この文化施設にどのような機能があるとうれしいか>

【1班】

- ・ 小ホールと、400席ぐらいの中ホールの、両方があるとよい。小ホールでは実験的な演劇ができる。
- ・ 設備よりも、利用者からの要望を柔軟に受けとめていくような、運営の仕方も大事だと思う。
- ・ コンセントをたくさん設置したり、防音のしっかりした部屋や、パーティションで区切ってサイズが変えられる部屋にする、使う人が工夫できる余地のある設計をして欲しい。フリースペースや会議室のような小部屋がたくさんあると、創作活動やワークショップにも使える。
- ・ 例えば、市民ギャラリー栄には、100㎡程度の部屋がたくさんあって、安価で予約しやすく、希望すればだいたい使える。審査をゆるくして、アマチュアでもやりたい人みんなが、小規模でもチャレンジできる場、開かれた施設になって欲しい。
- ・ 以前は京都府ギャラリーで個展ができたが、今の文化芸術会館では、個展ができないので、個展もできるスペースがあればいい。
- ・ 演劇をするとすると、発表場所だけでなく、稽古場を確保しないとイケないので、リハーサル室がたくさんあると使い勝手がいい。
- ・ 発表が目的ではない人もいるので、例えばワークショップを楽しむ場所など、ホールやギャラリーなど発表のための場所以外の施設がたくさんあるとよい。
- ・ 施設の主催事業が入っていても、一般の利用を受け入れて欲しい。そのためにも小スペースで自由に使える部屋がたくさんあれば、市民活動で使いやすい。

【2班】

- ・ 劇場とは、人と人が出会い、美やエネルギーを表現し、人や子どもたちのエネルギーを創っていく場所である。
- ・ 用途別の建物が縦割りの感じで分離しているので、管轄範囲を広くして、近いエリアの施設は統合・融合して複合的機能を持って欲しい。すると、1ヶ所に行き行って終わりではなく、気づきから連続して興味がつながり、広がりが出てくる。例えば、植物園で見た植物を、すぐに図書館で調べられたら、子どもの興味がつながっていく。
- ・ 建物の外観や雰囲気は、大事だと思う。テンションが高くなるような仕掛けを楽しみたい。
- ・ 通常、劇場などでは写真撮影はできないが、それを OK にし、今の時代らしい SNS で発信したくなる仕組みを取り入れるといい。
- ・ 北山が、アーティストが住む街になれば、双方向の取り組みができそう。例えば、金沢 21 世紀美術館のような複合施設にして、アーティストが教える人にもなれば、人と人がつながり、芸術を見る目も育てられるうえに、夢を実現する人材がいる場所になる。
- ・ 400~600 席クラスの、子どもを含む市民が発表できる場所になって欲しい。そういった発表の情報発信ができる機能もあるといい。
- ・ 例えば、映像編集をできる設備を用意して、住んでいるアーティストが教えることで住民との交流もできる。
- ・ 複合施設として活用する OPEN な場と、市民生活の場としての CLOSED な場としての使い分け、棲み分けも必要。
- ・ 文芸会館には、内容に応じた規模や設備、しつらえや、人の目には触れないがバックヤードも必要になる。使い手が必要なものを揃えて欲しい。
- ・ トラック（物流）や人流などの、交通のコントロールが必要。
- ・ コロナの状況も踏まえつつ、目的の異なる人が集まったり、休んだり、住民が憩うこともできる穏やかな場所、わくわくできる場所になって欲しい。
- ・ 子どもが自由に過ごせる場所になって欲しい。

- ・ 京都の景観ガイドラインで、建物に 20mの高さ制限がある。
- ・ 舞台芸術に比べて、視覚芸術の設備が弱いように感じる。
- ・ トイレや授乳室等、幅広い人に対応できるようにして欲しい。
- ・ 多目的な場所は、展示の見栄えが下がるので、専門的な設備が欲しい。
- ・ 安かろう、悪かろうではなく、運営側の心意気を感じるような魅力的な空間をつかって欲しい。
- ・ 京都の経済を活性化し、芸術に関わる人々がやっていける仕組みをつかって欲しい。
- ・ 目的が異なる人々が集まる場所になるといい。住民が憩える穏やかな場所でもあり、一方でワクワクできる場所としても機能して欲しい。
- ・ 子どもが楽しめるような施設を望んでいる。
- ・ 賑わいをつくれたらいい。

【3班】

- ・ 制作活動の場がなくて困っている。営利目的ではなく、安く使える場所が欲しい。子どももスケッチで使えるといい。
- ・ おきなわ工芸の杜のように、制作から展示まで行える場所があるといい。
- ・ ロームシアターは、3階からだが見つらく、怖い。高齢者やファミリー層まで、足が悪くても移動しやすく、後ろや端っこの人でも見やすい客席にして欲しい。
- ・ ピアノの発表会にも使いたい。
- ・ 子供連れのファミリー層が利用しやすいトイレにして欲しい。
- ・ 色々なことに使えるリハーサル室がいくつかあると、いつでも使えていい。演者の練習スペースと子どものダンススクールなどを、時間帯で分けてもいい。
- ・ 利用料が高いと、お金がある人しか利用できなくなるので、一元的になると思う。
- ・ 朝からオープンすれば、近くのパン屋に並ぶ人が来るのではないか。

- ・ 梅小路公園にある屋根付きのステージのようなものがあるといい。食事スペースになったり、作家や常設展示をしている人のワークショップをしたり、いろいろな賑わいを作り出せると、相乗効果で地元の理解も得やすいと思う。植物園の利用者も立ち寄りやすい。
- ・ 地域の人が納得できる賑わいとは、どういうものだろう。
- ・ 舞台が曲線的に見えるとおもしろい。
- ・ 夜閉まるのが早いと、行きにくさにつながる。
- ・ エリアごとに違う休憩スペースがあるといい。さらに、屋根があると嬉しい。
- ・ 夜は真っ暗で怖いので、夜でも安心できる入口が、賀茂川沿いにも欲しい。
- ・ 子どもが小さい頃、迷子になったことがあるので、入口が多いと助かる。
- ・ この施設にも、絵の展示スペースがあるとよい。

＜北山のエントランスとして、付帯施設や周辺にどのような機能があるとうれしいか＞

【1班】

- ・ 陶板名画の庭も、文化芸術施設の演出の一つにしたらいい。
- ・ ひとつなぎのエリアに、日常的に使いたい行政施設や、学生など若い人や子どものための施設、オフィスゾーンなど異なる対象、異なる目的の施設があれば、地域課題とビジネスがつながり、多世代が交流できる。その中に文化芸術ゾーンがあれば、ビジネス関係の人、市民、学生などが、文化芸術に関するいろいろな情報をキャッチできる、間接的に文化芸術を知ってもらえる場になる。
- ・ 賑やかになる分、住民も大変なところもある。ここで大きなイベントなどをできたという喜びを住民と共有し、住民の歓迎する気持ちを大事にしてくれる人に、たくさん来て欲しい。迎え入れるために、住民が我慢や努力をしていることを理解して、大事に考えて欲しい。

- ・パブリックビューイングができるとうれしい。
- ・北山に来る人には、あこがれの気持ちとともに、マナーも大切にしたい。ごみ問題など、何かいい手はないだろうか。
- ・インスタ映えするオブジェを置いて欲しい。
- ・目的が限定されすぎていない広場のような場所があると、屋外インスタレーションや屋外演奏会ができたり、練習風景を見られたり、オープンカフェや青空市、ピクニックにも使える。私ならどう使おうかと考えるのが楽しい。余白の美しさというのもあると思う。
- ・たくさんの人に来て欲しいが、車や自転車をどうするのが課題。どうしたら地下鉄やバスで来てもらえるかを考えないといけない。近所を散歩するときでも、にぎやかになると気を遣って正装っぽい服で行かないといけないのも、ちょっとしんどく感じる。
- ・ギャラリーなどは、入るのに勇気がいるので、気軽に入りやすくするための工夫が必要だと思う。入口を広げることや、受付の人が待ち構えていると入りにくいので、ちょっと隠れるようにするといいい。ガラス張りで中が見えると、何を展示しているのかわかるので、入りやすくなる。部屋を仕切れたり、小さい部屋など、複数のギャラリーがあって、どの展示を見るか選べたり、外にも展示品がおいてあると、中に入ってみようという気になる。

【2班】

- ・北山地区は山と街の接点で、ポタニカルな場所なので、借景を贅沢に活かして付加価値とし、オリジナリティを持たせるとよい。にぎわい施設も、面を意識して人の流れを考え、周辺の施設と連携して周遊性を持たせるといい。例えば、サンフレッチェ広島スタジアムと公園を一体化させた都心交流型の広島スタジアムパークプロジェクトのようなイメージ。
- ・現状、エリアに施設が点在し、周遊性はあるにはあるが、ハコモノ行政から抜け出せず、機能していない。アクセスはよくなったので、もう一步、がんばって欲しい。

- ・ 植物園を単なる教育施設とするのではなく、地産地消や食育に利用するためにも、植物園で食事や宿泊ができるなど、植物園をアミューズメント化し、楽しめる仕掛けをして欲しい。
- ・ 植物園を観ながら食事、宿泊できればよい。
- ・ ゲートは自動化できるので、植物園を 24 時間開放して欲しい。
- ・ 市民が発表できる場になるとうれしい。
- ・ 劇場の入り口に現代アートの展示をするといい。
- ・ 何でも OK ではなく、絞り込んでやり方を考えて進めて欲しい。

【3班】

- ・ ベンチ・ゴミ箱が少ない。
- ・ 駐車場が混雑すると道が渋滞し、近隣も困るので、広い駐車場が欲しい。駐車場がなくて遠くに停めることも多い。
- ・ 国際会館を持て余している。
- ・ 駐輪場を整備し、使いやすくわかりやすいシェアサイクルや、セグウェイみたいな乗り物があると渋滞が緩和されるのではないか。
- ・ 地下鉄からは、あまり大きくないエレベーターが1つしかないので、長い階段やスロープがあるといい。
- ・ バスが1時間に1本しかないので、もっと増えるとよい。
- ・ ツタヤカフェやスタバみたいなところがあるといい。
- ・ 北山には集客力がないが、一方で、静かでいいという人もいる。
- ・ 道の駅みたいな場所で、作品を販売できるといい。
- ・ 京都府は縦長なので、北と南での地域特性を活用し、生産者の顔が見える形で、北部の海産物や工芸品、ハーブを南部の地域で販売し、経済の活性化を図るといい。食育ができるといいかもしれない。北部はアクセスが遠いので、府民でも行ったことがない人もいる。遠方の人にも知って欲しい。
- ・ 浄水場から水道を引っ張ってきて、水が飲める場所をつくって欲しい。
- ・ 作る、試す、作る、を繰り返すのではなく、色々な意見を反映して作って欲しい。